

# 介護職体験し身近に

## 県が初、小中生向けツアー

宇都宮など

県内の小中学生に介護の仕事体験してもらおうバスツアーが9日開催され、中学生9人、小学生2人が宇都宮市と高根沢町の介護施設を訪れた。参加者は職員から仕事の説明を受けたり高齢者と触れ合ったりして、介護職への興味・関心を深めた。

介護職場の魅力をアピールし人材確保につなげようという狙いが初めて実施した。高根沢町上柏崎のケアハウス「フロロラ」では、施設を利用する高齢者と風船パレールボールをしたり、動作支援ロボット「マッスルスーツ」を身に付け効果を確認したりした。

職員に「仕事で大変なこととは」と質問すると、男性職員は「大勢のお年寄りを一人でみるのが最初は大変だったが、今は全員に対応できる。仲間もいるので強い」と答えた。

宇都宮市砥上町の特別養護老人ホーム「美涉」では、施設で提供している介護食を食べた後、リハビリルームや入浴施設などを見学。高齢者にネイルケアや腕のマッサージを施す体験では、参加者と高齢者がともに笑顔を浮かべて楽しんでいた。

友人同士で参加した宇都宮市鬼怒中1年の原田結衣さん(12)、影沢一美さん

(13)、安納唯愛さん(13)は「介護職はきつい、暗い

というイメージがあったけど、実際に見ると施設はきれいで雰囲気も明るい。職員も優しい人ばかりで、介護士になりたいという気持ちの方が今までより強くなった」と声をそろえていた。

(山根茂生)



介護施設で高齢者へのネイルケアやマッサージを体験する参加者＝9日午後、宇都宮市砥上町